

俳句は日本で古くから作られてきた五・七・五の十七音からなる短い詩です。季節感を表す「季語」を入れて作ります。

今までに、どんな俳句を読んだことがありますか。また、俳句を作ったことはありますか。生活をふり返り、心が動いたことを俳句で表しましょう。

一 それぞれの俳句を読んで、思いうかんだ情景や、おもしろいと思ったところを友達と伝え合いましょう。

# 心が動いたことを 十七音で表そう

○言葉の選び方や使い方をくふうして  
発見や感動を表す俳句を作りましょう  
○思いうかべた情景や、おもしろいと思った  
ところなどを、伝え合いましょう

## 『児童の作品』

風 小 い て 道 路 い ち め ん 桜 色

（季語：桜 季節：春）

電 線 に 音 符 を 描 く つ ば め た ち

（季語：つばめ 季節：夏）

赤 とんぼ 野 球 の ノ ッ ク 見 に 来 て る

（季語：赤とんぼ 季節：秋）

初 も う で 人 に お さ れ て 願 い 事

（季語：初もうで 季節：冬）

後藤 なつ 美

川 上 翼

柴 田 一 希

吉 中 菜 穂

## （1）季節の言葉を集めましょう。

### 二 題材を集めましょう。

生活の中で気づいたこと、季節を感じた出来事から、俳句の題材を集めましょう。現在の季節から連想して、思うかぶ言葉や出来事を書き出してもよいでしょう。

季節を感じたときを思い出してみましょう。

## （2）二の（1）から、見えたもの、聞こえた音、ただよつていてかおり、ふれた感覺、口に広がった味などをよく思い出して、五・七・五で表してみましょう。

俳句には、季語と呼ばれる季節を表す言葉が入ります。  
そのときの発見や感動が読む人に伝わるように、表現をくふうしましょう。「きれいだな」「うれしいな」「楽しいな」といった気持ちを表す言葉を使わずに、自分が心ひかれたものを何かにたとえてみたり、ふさわしい言葉を探したりして表現してみましょう。

五	七	五



そのときの発見や感動が読む人に伝わるように、表現をくふうしましょう。「きれいだな」「うれしいな」「楽しいな」といった気持ちを表す言葉を使わずに、自分が心ひかれたものを何かにたとえてみたり、ふさわしい言葉を探したりして表現してみましょう。

※リズムがあれば、字数にこだわらなくてもよい。

# 作文の友

～書くこと 大好き～



6

5

4

3

2

1

目 次

**表現をくふうして書こう（詩）** ..... 2

・いろいろな表現のくふうを知り、表現の効果を考え  
て書きましょう

**防災ポスターを作ろう** .....

・表現の効果を考えて報告しましょう

**本は友達** .....

・読書感想文を書きましょう

**世界に目を向けて意見文を書こう** .....

・資料を使って説得力のある意見文を書きましょう

**心が動いたことを十七音で表そう** .....

・発見や感動を表す俳句を作りましょう

・思いうかべた情景や、おもしろいと思ったところなどを、伝え合いましょう

28

21

13

原稿用紙の使い方・書き直し方

会話文の次の行から新しく文が始まるときは一マス下げる

二行目は一マス下げる

行をかえる

書き出しは一マスあける

三行目から

題は二、三マスあける

そこまで

三  
人  
で  
に  
じ  
の  
ふ  
も  
と

お  
姉  
ち  
や  
ん  
が  
聞  
き  
ま  
し  
た  
か  
ら  
出  
て  
る  
の  
か  
な  
に  
行  
く  
こ

あ  
る  
の  
か  
な  
。

じ  
て  
ふ  
し  
ぎ  
だ  
ね  
。ど  
こ  
か  
ら  
出  
て  
る  
の  
か  
な  
ま  
せ  
ん

、お  
兄  
ち  
や  
ん  
が  
さ  
け  
び  
ま  
し  
た  
、  
わ  
か  
り  
ま  
せ  
ん

と  
、  
お  
兄  
ち  
や  
ん  
が  
さ  
け  
び  
ま  
し  
た  
、  
お  
兄  
ち  
や  
ん  
と  
お  
姉  
ち

や  
ん  
と  
遊  
ん  
で  
い  
る  
と  
、  
お  
兄  
ち  
や  
ん  
と  
お  
姉  
ち

ず  
つ  
と  
小  
さ  
い  
こ  
ろ  
に  
、  
お  
兄  
ち  
や  
ん  
と  
お  
姉  
ち

に  
じ  
の  
ふ  
も  
と

す  
ず  
木  
し  
お  
り

一マスあける

一マスあける

書き直すときの記号  
つけてわかる  
書きかえる  
とる  
行をかえる

いちばん下の「、「。」はマスの中に入れる

さいごの一マスあける